

[優 秀 賞] 次世代人工皮膚 Advanced Skin



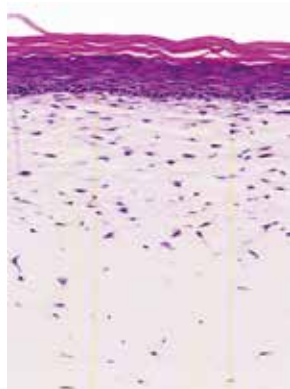
代表取締役
杉村 泰宏 氏

株式会社オーガンテクノロジーズ

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町6-7-1

理化学研究所 融合連携イノベーション推進棟(IIB) 5F

TEL. 078 (569) 8843 <http://www.organ-technol.co.jp/>



オーガンテクノロジーズは、再生医療技術をドメインとする理化学研究所の認定ベンチャー。皮膚器官系再生の研究成果を基に、化粧品や医薬部外品の研究開発を支援するのが人工皮膚モデル「Advanced Skin」だ。表皮4層、真皮2層のヒト皮膚組織構造を再現し、化粧品などの安全性や有効性などの機能解析に用いることで的確に製品の特徴を打ち出すことができ、他製品との差別化を実現する。

化粧品や医薬部外品などの開発では、生体皮膚の生理的応答性を再現できる人工皮膚モデルの重要性が高まっている。従来は主に表皮4層モデルが安全性評価に用いられてきたが、表皮と真皮を含めた機能性評価はほとんど行われておらず、まれに表皮4層・真皮1層のモデルが用いられることはあった。「Advanced Skin」は、ヒトの皮膚に近い構造を再現しているため、従来の皮膚モデルでは難しかった機能性成分や薬用化粧品の皮膚への効果の検証を、表皮や真皮への効果として評価できるようになった。

肌質機能性の評価で、「肌に優しい」などのイメージ、キメ、ハリや弾力、保湿などの効果を科学的に立証した製品開発が期待できる。人工皮膚モデルを販売するだけでなく、顧客企業の研究員訓練用として研究技術サポートをパッケージにして提供するビジネスモデルでも支持を集めている。現在、毛包や皮脂腺などを備えた新しい皮膚モデルも開発中だ。